

■ブータン：ブータン初の風力発電所が運開

2016年2月17日付の現地報道によると、2016年1月にブータンで初の風力発電所が運開した。この発電所は、同国のほぼ中央に位置するワンディ県に建設され、出力600kW（300kW×2基）である。同県はブータン国内を南北に貫くプナサンチュ川が流れており、川沿いに強い南風が吹く。この工事はアジア開発銀行（ADB）の支援を受けブータン電力公社が発注し、日本の株式会社駒井ハルテックが受注した。工期は2014年9月～2016年1月。同国は水力資源が豊富で、国内の発電設備容量の98%超が水力発電であるが、冬季には乾燥がひどく、氷河湖が凍結して河川流量が減少することから、水力以外の電源開発が進められている。政府は、2025年までに太陽光発電5,000kW、風力発電5,000kW、バイオマス発電5,000kWの導入を目指している。